

平成24年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	国際電気通信連合 (ITU) 分担金		担当部局庁	情報通信国際戦略局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和24年度～		担当課室	国際政策課	課長 仲矢 徹		
会計区分	一般会計		施策名	V-6 ICT分野における国際戦略の推進			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第78号		関係する計画、通知等	国際電気通信連合憲章第二十八条			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	我が国の電気通信の国際間における接続運用、標準化等の発展を図り、周波数、衛星軌道位置等の便益を確保すると共に、この分野の国際協力を促進するため、構成国として分担金を負担する。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	国際電気通信連合(ITU)は、電気通信に関する国連の専門機関であり、国際的な周波数の分配、電気通信の標準化、開発途上国に対する技術援助等を主要な目的としている。分担金は、国際電気通信連合憲章第28条に基づく構成国の義務として、連合の経費を負担するもの。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	911	871	842	859	465
		補正予算	0	0	-31	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	911	871	811	859	465	
	執行額	878	840	811			
執行率 (%)	96.4%	96.4%	100.0%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、国際機関への貢献を通じて、我が国の方針の反映及びプレゼンスを向上させることを目指すものであり、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、国際機関への貢献を通じて、我が国の方針の反映及びプレゼンスを向上させることを目指すものであり、定量的な活動指標を示すことは困難。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
単位当たり コスト	(810,900千円/件)		算出根拠	【H23年度】 日本がITUに対し支払うことを約束している金額。 (1単位当たり分担金) × (日本の分担単位数) × (H23年度支出官レート) 318,000スイスフラン × 30単位 × 85円=810,900,000円			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	国際電気通信連合分担金	858.6	465.2	H25年度から分担金の一部(43.3%)を電波利用料財源からの支出に組み替える。			
	計	859	465				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ITU憲章に定められたITU構成国の義務として、国が分担金を負担する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	連合の目的を達成するための連合の運営に必要な経費に充てられている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	電気通信分野における我が国の地位・国力に応じた負担であり、同時に、国際電気通信連合における便益の確保、影響力行使に資するものである。なお、我が国は、1959年以来、ITUの運営について実質的な意思決定を行う理事国(全48カ国)に選出されている。また、我が国からITUの各種会合の議長・副議長に多くの人材が任命され、ITUの活動に大きく貢献してきている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 ITU等拠出金(総務省)	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	ITUの構成国の義務として、電気通信分野における我が国の地位・国力に応じた負担であり、同時に、国際電気通信連合における便益の確保、影響力行使に資するものである。なお、我が国は、1959年以来、ITUの運営について実質的な意思決定を行う理事国(全48カ国)に選出されている。また、我が国からITUの各種会合の議長・副議長の多くの人材が任命され、ITUの活動に大きく貢献してきている。さらに、ITUの理事会の場等において、ITUの活動を確認している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	条約等に基づくものであるため		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	連合加盟国の責務として、今後も国が継続して負担。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	128	平成23年行政事業レビュー	0130

※平成23年度実績を記入

総務省
811百万円

分担金を拠出

【分担金】

A. 国際電気通信連合 (ITU)
811百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.ITU			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物件費等	連合の運営に必要な経費	811			
計		811	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ITU	連合の運営に必要な経費	811	分担金	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					